

アダージョ通信

Vol.
35

NPO法人アダージョちくさと
B型事業所ワークルーム・ぐるっぺのこと

adajio message
2026.7 発行

バトンをつないで－理事長交代のご挨拶



日頃より、当法人の活動へご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

さてこの度、2019年より8年にわたり理事長を務めてまいりました下園美保子が6月30日に退任することを受けまして、後任として富田倫弘が5月31日に開催された法人定期総会において選任されました。

前理事長の下園が就任した直後にはコロナ禍という、日本そして世界にとっても未曾有の危機が訪れ、ほとんどの組織が活動の継続について頭を悩ませる一大事となりました。そんな中、前理事長の下園は、保健師と看護師というその手腕と決断力を活かし利用者さんと職員の不安をやわらげ、共にこの困難を乗り越えてくださり、外部の支援者も巻き込み「強い組織」への成長を促してくださいました。本当に感謝しています。

今後は、現場の管理者として20年組織を支え続けてきた副理事長の富田にそのバトンをつなぎ、新たな一步を踏み出していきます。

ご不便や至らぬこともあるかと思いますが、より一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



特定非営利活動法人 アダージョちくさ 顧問（前理事長） 下園 美保子

理事長退任および顧問就任のご挨拶

新緑の候、貴社におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は特定非営利活動法人アダージョちくさの活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと下園美保子は、2026年（令和8年）6月末をもって、8年間にわたり携わった特定非営利活動法人アダージョちくさの理事長を退任し、顧問に就任いたしました。

私が2代目理事長に着任いたしました2019年（平成31年）7月は、当法人が10周年という節目を越え、次の時代へと向かう変革の時期でございました。それ以来、「障害者と健常者の垣根を越えて、地域で誰もが安心して暮らせる社会の実現」という基本理念のもと、障がいのある方々が地域で自立し、共に生きられる機会の創造に全力を尽くしてまいりました。

この在任期間を振り返り、私が最も深く胸に刻んでおりますのは、パナソニックの「NPO/NGOサポートファンド for SDGs」の助成をいただき推進した、組織基盤整備と経営体制の強化です。

この改革を成し遂げるにあたり、とりわけ大きな力となりましたのは、中小企業診断士や行政書士、税理士など、多くの外部専門家の皆様による温かい伴走支援でした。皆様は、単に収益や効率のみを求める経営的視点ではなく、私たちの活動目的や福祉的視点、そして法人の「想い」に深く寄り添い、時間をかけて職員一人ひとりの声に丁寧に耳を傾けてくださいました。

この第三者による客観的かつ俯瞰的なアプローチによって、それまで内部だけでは見えづらかった課題や取り組むべき対策の優先順位が明確になりました。その結果、就業規則をはじめとする各種規定類を整え、属人的な経営から定款に則った「根拠に基づく迅速な経営判断ができる組織」へと生まれ変わることができたのです。

さらに、理事がタイムリーに運営に関与できるよう「月1回の理事懇談会」を新たに設置したことで、より強固なガバナンス体制を確立いたしました。

こうした強固な経営体制という土台があったからこそ、激動のコロナ禍や、さんりん舎の完全閉所という苦渋の決断のなかも、利用者の皆様の居場所を守り抜くことができたと確信しております。また、チャリティショップ「Re☆ショップなかつ」を開所し、これを軌道に乗せて法人の経営を安定化させられたことも、皆様との協働があったからにほかなりません。お力添えをいただいたボランティアネイバーズの皆様をはじめ、専門家の皆様のご尽力には感謝の念に堪えません。

そして何より、私の至らぬ舵取りを信じ、共に汗を流してくれた職員一同、日々笑顔で通ってくださった利用者の皆様とご家族の皆様、日頃から温かく支えてくださる医療機関、行政、商店街、地域住民の皆様――すべての方々の真心溢れるお支えに、心より深く御礼申し上げます。

本年、アダージョちくさは40年の伝統と信頼の原点を引き継ぎながら、新理事長のもと、安心・安全が制度化されたコミュニティ型福祉法人を目指し、新たに出発いたします。私自身は一線を退きますが、今後は顧問という立場で、皆様からいただいたご恩を胸に、法人の未来を末永く支えてまいる所存です。

皆様におかれましては、これまでと変わらぬご指導ご鞭撻を新生アダージョちくさへ賜りますよう、切にお願い申し上げます。

末筆ではございますが、皆様のますますのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。

敬具



特定非営利活動法人 アダージョちくさ 新理事長 富田 倫弘

理事長就任のご挨拶

この度新しく理事長を託されました、富田です。私は2004年に日本福祉大学を卒業した後、2006年の5月に初めて就職をした職場がワークルーム・ぐるっぺでした。奇しくもこのタイミングが勤続20周年目となりました。ワークルーム・ぐるっぺは当時はまだNPO法人ではなく、精神障がい当事者の親御さんたちが自分たちでお金を出し合って設立した無認可小規模作業所でした。

そんな私を当時の家族会スタッフの方や利用者さんたちは「やっと福祉の専門資格を持った方が来た!」と嬉しそうに迎えてくれました。少し後にみなさんから聞かされた話では、私を採用したのは「若いから」でした。「過去に作業所の所長をしたことがある人も面接に来て、貴方と迷ったけど貴方を選んだ。やはりこれからの未来を切り開くためには若い力が必要」とのことと何の経験も実績もない私を採用してくださったことは、当時の私にはものすごいプレッシャーでしたが、今にして思えばよくまあ何の経験もない若者をそこまで信じてくれたものだと思います。本当に就職当時のワークルーム・ぐるっぺを運営していた家族会のみなさん、そして利用者のみなさんには感謝しています。

それからNPO法人の取得や、自立支援法が施工されてB型事業所への移行による「運営」から「経営」への転換など、大きな変化の波をなんとか切り抜けてきたものの、当時から私は(精神科病院や保健所などで働いた経験もまったくないし・・・)(就労支援といっても自分が会社に就職して働いたことがないし・・・)など、非常に多くのコンプレックスを抱えていました。しかしながら、いえ、だからこそなのかもしれません、前理事長の下園をお願いして組織基盤強化・改革をお願いした結果、今現在は福祉・医療の専門家の方だけでなく、会社の社長さんに企業の社員さん、労務の専門家の方に学識経験者の方、当事者の親御さんなど、非常にバランスのとれた素晴らしいサポーターの皆様に囲まれるという幸運に恵まれたのかもしれません。

ここ数年、グループホームをはじめとして多くのA型事業所、B型事業所、さらには児童デイサービス・・・ついには社会福祉法人の経営する高齢者施設まで、報酬の不正請求や人員配置の捏造、職員による横領などが大きく取り上げられるようになってきました。従来の「措置制度」から「契約制度」に代わり、自立支援法から総合支援法へと変わっていく中で、障害福祉サービス事業は本当に「利用者さんへの支援の質」と「経営」との両立が難しくなっています。だからこそ福祉だけでもダメ、利益追求だけでもダメ、様々な分野の方のご意見、お力がますます必要となってきたことを現場で働くなかでひしひしと感じています。

私自身まだまだ人生の若輩者としてこの法人を支えてくださる皆様や利用者さんたちから学び、一緒に色々なことにチャレンジしていき成長していく・・・そんな就職当時の気持ちを忘れずに今後とも努力していきたいと存じます。そう考えると当時抱えていたコンプレックスも意味があったのかななどと感じています。理事長がそんなことでは、と頼りないように思われるかもしれませんが、理事長という大任を預かったからこそ今まで以上に慢心せず進んでいく所存ですので、ぜひともこれまで以上に皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

誰もが働きやすい環境づくりのため

クレド(行動指針)を新たに策定しました

法人として大切にしたい価値観や行動指針を共有するために、前理事長や理事の方々に多大なるご助力をいただき、組織基盤整理の一環としてクレドを作成しました。クレドを作る過程で「私たちは何を大切に支援するのか」を改めて考える機会が生まれ、職員それぞれが立場や経験の違いを超えて共通の方向を確認し、安心して判断や行動ができるようになることを一つの目標としました。

日々の業務の中には、利用者さん一人ひとりの状況に応じた柔軟な対応や判断が求められる場面が数多くあります。そのような時にこのクレドを指針とすることによって、利用者のみなさまが地域の中で生き生きと暮らし続けられるような支援をスタッフ一丸となって考える基盤になればと思っています。クレドを活かし実践しながら、これからも利用者のみなさまや地域のみなさまから信頼される法人づくりに努めてまいります。

わたしたちの行動指針

ささえる、ささえあう、ともに生きる

1 利用者さんの豊かな生活づくりのために



- 1) 安心して過ごせる場
 - ・安心して悩みを相談できる場を提供します
 - ・安心して仲間との交流ができる場を提供します
- 2) ささえあう意識、ともに関わる意識
 - ・利用者の意思を尊重し、やりたいことが見つかるよう支援します
 - ・新しいことに触れる機会、挑戦する機会を提供します

2 ずっと働きたいと思える職場づくりのために



- 1) 安心して働ける職場
 - ・対話による意思疎通を大切にし仕事を自分で割り出してやりがいを感じる職場にします
 - ・楽しく働き収入も得られる、地域に必要な職場を維持します
- 2) ささえあう意識、ともに成長する意識
 - ・悩みや問題は1人で抱え込まず、チームで考えていきます
 - ・一人ひとりのスタッフの声を全員が真摯に受け止め、改善し続けます

3 関係団体とつながるために



- 1) 個人情報保護に配慮し関係団体と協働します
 - ・情報共有や連携を通じて協働できる体制をつくらせます
 - ・利用者のみならず地域の課題解決にも誠実に取り組みます

4 地域と障がい者の共生のために



- 1) より良い地域づくりへの貢献
 - ・利用者とともに、地域貢献活動を積極的に行います
 - ・障がい者にやさしい＝みんなにやさしい地域づくりを目指します
- 2) ささえあう意識、ともに貢献する意識
 - ・積極的な情報発信や相談を通じて地域との絆を大切にします
 - ・障がい者の方と地域との関わりを意識した活動を行います



Re☆shop Nakata

Chikusaku
since 2020

地域のリユースショップ 2026年度上半期の活動



5月 うえの授産所さんのさをり織りを 店頭で販売させていただきました！



昨年行われたバザーでスタッフが一目ぼれした、さをり織りのちーちゃん人形。エプロンに付けて働いていたところ、お客さんに「それどこで買ったの？」「色がきれいでかわいい」「私も欲しい」と大好評！そこでうえの授産所さんにご相談させていただいたところ、ありがたいことにRe☆ショップなかたの店頭で「さをり織りフェア」を開催させていただけることになりました。

ちーちゃん人形は型紙を使わず1人の方がその時の気持ちを大事に作成されているそうで、搬入の時も職員の方と一緒に丁寧にディスプレイをしてくださいました。4月から告知を始めていたので「ずっと楽しみにしていました」という方々が初日から来られ、じっくりお気に入りの子を選んでいけました。人形だけでなく、印鑑ケースやポーチ、かばんなど、ひとつとして同じ柄はなく、手作りのぬくもりを感じるさをり織り。ますますファンになりました！

気になった方はうえの授産所さんのホームページなどをチェックしてみてくださいね♪

PICK UP! - 人気のグッズ



ロボットくん

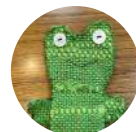
お口のチャックがとってもキュート。うえの授産所職員さんもイチオシ☆



サコッシュ

ちょうど財布とスマホが入るサイズ。ポケットのない服のポケット代わりに。

CUSTOMER'S VOICE!



初日にご来店のAさん

ずっと楽しみにしていました。カエルの人形が買えて大満足です！



かばんご購入のBさん

これから色々な服とコーディネートして大事に使おうと思っています。

NEXT EVENT

9/1 TUE ~

6周年記念セール

オープン6周年を記念して一部商品半額や必ずクーポンが当たるクジができるイベントをやります！掘り出し物を見つけに立ち寄ってみませんか？

SNSで日々の活動を発信しています！



RESHOP_NAKATA



名古屋市千種区仲田1-9-12
10:00~17:00 土日祝休
052-890-8383

もこで何をしようか？

レクリエーション

2か月に1回の誕生日会や季節のイベントなど
行ってみたいところ、食べてみたいものにみんなでチャレンジ！

2026年1月～6月



郷土料理の押し寿司が絶品！



花畑で集合写真 まだ寒い！



食べきれるかな～



汽車で園内をぐるっと



3/13 日帰りバス旅行 デンパーク(安城市)

いつものレクは地下鉄や市バスなどの公共交通機関を使って行くのですが、今回は名身連さんで福祉バスをお借りして安城市まで行ってきました。途中の刈谷ハイウェイオアシスでは、高い場所も平気な人11名が集まって観覧車に乗り、三河の景色を堪能！デンパークは思っていたより風が冷たく、凍えましたが郷土料理の押し寿司を食べたり、汽車で園内を回ったり、巨大温室で色とりどりの花を見たりして1日楽しみました。地元の野菜を売っている道の駅にも寄ってお土産を買って大満足で帰りました。



1/5 蝮ヶ池神社に初詣

近所の蝮ヶ池神社にみんなで初詣！梶山女学園高等学校絵画部の方が描かれた大きな絵馬が飾ってあり華やかな雰囲気でした。新年初日ということもあり、帰りはみんなで事業所近くの花ごよみさんでお昼ご飯を食べて帰りました。



3/27 乗西寺さんでお花見

乗西寺さんの大きな庭に面したお部屋をお借りしてお花見をしました。暖かい日で青空が広がり、桜もほぼ満開！完璧なお花見日和。年度末のボーナスも出て、みんなほくほくの1日でした。



お団子持っちはチーズ▲
(顔出しOK)



4/24 誕生日会で寿司ケーキ

4、5月誕生日の方のリクエストで、魚屋さん勤務の経験がある利用者さんに立派なブリを1匹さばいてもらい、お刺身盛りだくさんの寿司ケーキを作りました！贅沢〜〜〜！！

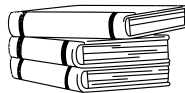


仕入れから担当！▲
(顔出しOK)



5/28 鹿子公園でBBQ

くもりで気温28度という最高のBBQ日和でした！火おこしと野菜切りで分かれて準備をし、あゆの塩焼きと大あさは寿司ケーキの時には活躍してくださったKさんが今年もばっちりやってくれました。公園の中は緑が多くさわやかでしたよ。



利用者さんのおすすめ本

おすすめ本1冊選ぶなら？

服部さん



「気がつきすぎて疲れる」が
驚くほどなくなる
「繊細さん」の本

飛鳥新社 武田友紀 著

繊細でストレスを感じやすい人がラクに生きる方法を書いた本です。私はみんなと何か違う気がすると思って生きてきました。なんでこの作者の人、私の考えていることがわかるの？この本を読んで私は繊細なんだと気づけました。5人に1人「生まれつき繊細な人」が存在します。繊細な人はもちろん、周りに繊細だなと思う人がいる人達にも読んでほしい本です。HSPの診断テストも載っています。

伊藤さん

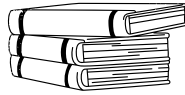


風の歌を聴け

講談社 村上春樹 著

村上春樹の鼠三部作の第一部である。すでに春樹節が炸裂するデビュー作です。友人鼠との日常。ちょっと不思議な話の入りから三部になると少し怪奇になる。読み進めるとリズムが生まれるので、読んでいても時間を気にしず読める。

三部作を通して読んでも苦にならない。村上春樹の原点にふれてみるのもいいかも。



M
さん



青が散る

文芸春秋 宮本輝 著

私の好きな小説は、青が散るです。
テニスを通して語る青春小説です。
学生運動があった時にテニスを通して青春群像を描いた本です。ドラマにもなったのですが、原作とは少し違うので、それもおすすめです。原作はドラマとかなり違いますが、それもおもしろいです。



安
田
さん



ビューティーキャンプ

幻冬舎 林真理子 著

「ミス・ユニバース」—あまり最近
は派手に報道されなくなった企画
だ。ジェンダー平等という観点から
も、少し眉をひそめる人も多いと思
う。日本代表が選ばれていく過程を
笑いあり涙ありのストーリーで綴る
小説である。日本代表を目指す12
人の若い女性が「ここは、美を磨く
だけじゃない、人生を変える場所
よ」と周囲に叱咤激励されて、イン
タビュー、水着や和服の着こなしと
いったパフォーマンスに挑んで競い
合いながら切磋琢磨して成長してい
く姿は美しかった。たとえ日本代表
になれなくてもキャンプで培った精
神力は、どのような進路をとるにせ
よ、後の人生に生きていくと思いな
がら読ませてもらいました。



就労継続支援B型
ワークルームぐるっぺ

みんなのはやり

利用者さんの中で"の流行り"があり、少し前は楽器、将棋、園芸、と色々あったのですが、最近のはやり3つを紹介します

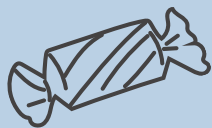


あみもの

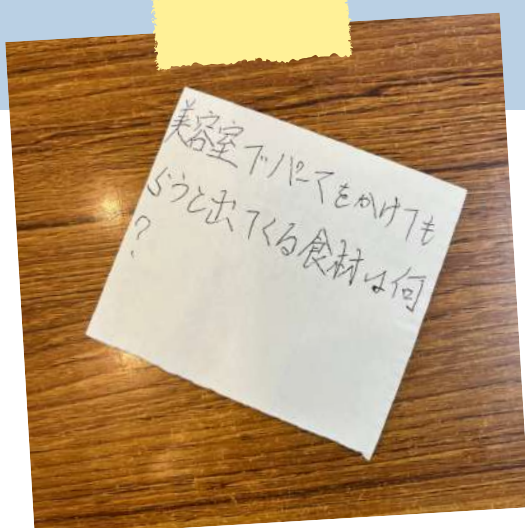
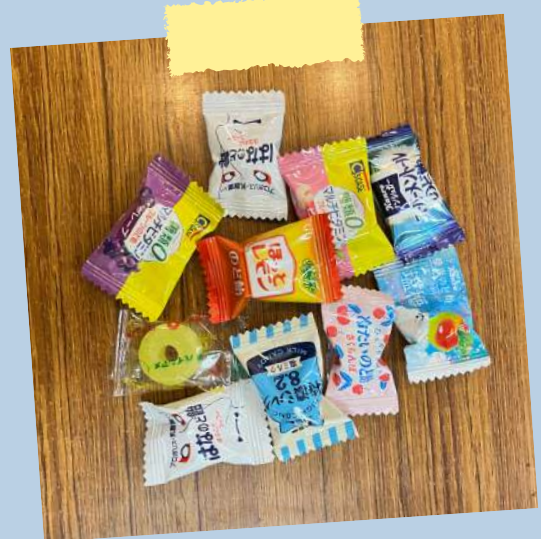


昼休みなどの空き時間に利用者さん数人とスタッフでやっています
作品を見せてもらうのも楽しい♪

あめだま



おすすめの飴を交換すると新しい味との出会いがあります



Welcome!!

新規利用者募集中

わたしたちと一緒に

働きませんか



就労継続支援 B 型 ワークルームぐるっぺ

Address 〒464-0074 名古屋市千種区仲田1-9-12(1FがRe☆ショップなかた)
Tel/Fax 052-731-3070
mail workroom.gruppe@gmail.com
Access 地下鉄東山線[今池駅][池下駅]より徒歩約10分
市バス[東部医療センター]より徒歩約2分

詳しくは
こちらから



東部医療センター



就労継続支援 B 型
ワークルームぐるっぺ



水道みち緑道

2番or3番出口

今池駅

西改札口

池下駅





会員募集中

NPO法人アダージョちくさでは、法人の活動趣旨に賛同し、一緒に活動していただける方や経済的支援をしていただける方を募集しています

正会員

年会費 2,000円

議決権を持ち、総会に出席して運営に関わることが可能です

賛助会員

年会費 個人／一口 1,000円

団体／一口 5,000円

法人の趣旨に賛同し、援助・後援してくださる方

会費振込先 (郵便振替口座)

口座番号 00810-2-89358

口座名義 特定非営利活動法人アダージョちくさ



お知らせ

ホームページにもこの会報を載せるようにいたしましたので、31号からはバックナンバーもご覧いただけます。お時間のある時にぜひご一読ください。



←アダージョちくさホームページ

編集後記

第34号でお話した通り、今回は利用者さんのおススメ本ページを作りました。みなさん快く原稿の依頼を受けてくださって大変うれしかったです。みんながおススメしてくれた本、ぜひお手に取ってみてくださいね。2028年には星ヶ丘に図書館もできるようなので、みんなの読書生活が潤いそうです
(KOMA)

アダージョ通信VOL35
2026.7月発行

発行責任者 富田 倫弘